

大学の世界展開力強化事業 取組実績 東京工業大学

【構想の名称】(タイプB-I)

グローバル理工系リーダー養成協働ネットワーク

【プログラムの目的・養成する人材像】

アジア、ヨーロッパ諸国の主要大学との協働の実績を基に、これまで個別的な交流が主であった米国主要大学とも組織的な連携ネットワークを構築し、世界的に活躍する研究者、技術者、企業人、国際機関職員等グローバルエリート人材を養成する。

【構想の概要】

欧米等の先導理工系大学との連携の下、学部生向け研究体験型海外教育プログラムと院生向けの共同指導型交換留学プログラムを中核として、入学から修了・就職まで一貫して国際人教育を行うグローバル理工系リーダー養成システムを構築する。サマープログラムやテラーメイドの研究指導を実施することにより、理工系学生の新たな交流モデルを提示する。

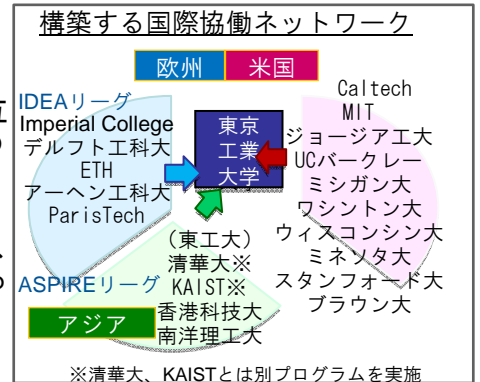
■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

○ 質の保証に関する基本的な考え方

本構想により実施するプログラムにおいては、相手大学の高い質保証システムを相互に尊重しつつ、参加する学生が、効果的に履修の成果を挙げることができる認定等の制度を構築することを基本的な考え方としている。

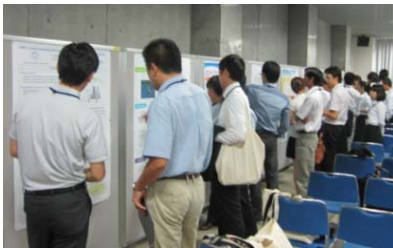
○ 「修学・研究計画書」による指導、助言

個々の学生について、双方の大学の指導教員が連絡を取り合うことを原則としており、「修学・研究計画書」を交わすことにより、派遣前、派遣期間中、そして帰国後にわたる期間、科目履修や研究実施について指導、助言を行う。



■ 実施した交流プログラムの概要、今後の開始に向けた準備状況

〈夏期プログラム風景〉



○ 本学が主催する「TiROP」参加学生の決定

Tokyo Institute of Technology International Research Opportunities Program (TiROP) の名称により、相手大学からサマープログラムをはじめとする研究重視型プログラムに参加する学生の推薦を受け、受入れを決定した。

○ 相手大学への本学学生の派遣

相手大学との合意に基づき、学内公募をととして派遣学生を選考、決定し、一部については、派遣を開始した。

○ 相手大学との間の事業実施に関する文書の交換

相手大学との間の基本的な合意に基づき、各大学との間で具体的な実施について継続的に協議を行っており、両者の間で文書の交換を行うこととしている。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

17の相手大学に、毎年各一人の学生を、「サマープログラムを中心とした教育プログラム」または「大学院共同指導プログラム」のいずれかの枠組みで派遣する。

○ 外国人留学生の受入れ

17の相手大学から、毎年各一人の学生を、「サマープログラムを中心とした教育プログラム」または「大学院共同指導プログラム」のいずれかの枠組みで受入れられる。

	H23	H24	H25	H26	H27
学生の派遣	0人	17人	17人	17人	17人
学生の受入	0人	17人	17人	17人	17人

注) H23は実績、H24以降は計画。

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

○ 日本人学生の派遣促進のための環境整備

「英語塾(仮称)」を開設し、留学を志望する学生の語学力の向上をはかる。また、新たに留学アドバイザーによる留学先での修学などについての助言を行う。留学中は、メール等により修学・生活上の相談やキャリアアドバイザーによる助言を行う。

○ 留学生の受入れ促進のためのサポート体制

プログラムの内容をホームページ上で公表することに加え、相手大学と緊密な連絡を取り円滑な受入れに努める。学内規程や学生向けガイドブックの英文化を進め、留学生受入のための環境整備を行った。滞日中は、専門の近い本学学生をチューターに指名し、また、24時間体制のカウンセリングや留学アドバイザーによる助言を行う。

■ 教育内容の可視化・成果の普及

○ ホームページを通じた情報の提供および卓越した人材の輩出

プログラムの実施においては、独自のホームページを開設するとともに、既存の本学英文ホームページや相手大学のホームページと関連させ、参加学生に留まらない、幅広い層を対象に情報の提供を行う。また、「修学・研究計画書」の利用や共通性の高い成績管理などは、他大学も参考にできる形で開示する。